

---

# 理工学部・情報工学部 共通分野

---

教 養 科 目

体 育 科 目

外 国 語 科 目

2020年度 共通分野 教育課程表

学則第18条別表1-1① 理工学部・情報工学部 教養科目・体育科目・外国語科目・PBL科目 教育課程表

○印必修科目 △印選択必修科目

区分	科目群	授業科目	必修の別	単位数	週時間数								担当者 (2020年度現在)	科目ナンバリング	
					1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期			
教養科目	人文学系	哲学(1)	G	2	2									大野晃徳	00-111
		哲学(2)	G	2		2								大野晃徳	00-112
		倫理学(1)		2	2									山本史華	00-113
		倫理学(2)		2		2								山本史華	00-114
		倫理学(a)		1		1								石田知子	00-115
		倫理学(b)		1		1								石田知子	00-116
		文化人類学		2		2								鈴木洋平	00-117
		視覚芸術史(1)	G	2	2									岡山理香	00-118
		視覚芸術史(2)	G	2		2								岡山理香	00-119
		デザイン概論(1)	G	2			2							岡山理香	00-211
		デザイン概論(2)	G	2				2						岡山理香	00-212
		日本文学	G	2			2							木内英実	00-213
		日本史(1)	G	2	2									丸島和洋	00-11A
		日本史(2)	G	2		2								丸島和洋	00-11B
		西洋史(1)	G	2	2									新保良明	00-11C
		西洋史(2)	G	2		2								新保良明	00-11D
		民俗学(a)	G	1		1								鈴木洋平	00-11E
		民俗学(b)	G	1		1								鈴木洋平	00-11F
	宗教学	G	2	2									長島大輔	00-11G	
	社会科学系	社会学(1a)		1	1									後藤美緒	00-121
		社会学(1b)		1	1									後藤美緒	00-122
		社会学(2a)		1		1								後藤美緒	00-123
		社会学(2b)		1		1								後藤美緒	00-124
		社会学入門(a)		1	1									Y C 開講	00-125
		社会学入門(b)		1	1									Y C 開講	00-126
		経済学(1a)		1	1									坂本純一	00-127
		経済学(1b)		1	1									坂本純一	00-128
		経済学(2a)		1		1								坂本純一	00-129
		経済学(2b)		1		1								坂本純一	00-12A
		日本経済論(a)	G	1				1						Y C 開講	00-321
		日本経済論(b)	G	1				1						Y C 開講	00-322
		政治学(1a)		1	1									坂井亮太	00-12B
		政治学(1b)		1	1									坂井亮太	00-12C
		政治学(2a)		1		1								坂井亮太	00-12D
		政治学(2b)		1		1								坂井亮太	00-12E
		日本の政治(a)	G	1			1							丸島和洋他	00-221
		日本の政治(b)	G	1			1							丸島和洋他	00-222
		国際関係論(1a)	G	1	1									都築正泰	00-12F
国際関係論(1b)		G	1	1									都築正泰	00-12G	
国際関係論(2a)	G	1		1								宮下大夢	00-12H		
国際関係論(2b)	G	1		1								宮下大夢	00-12I		
日本国憲法		2	2	(2)								大沼友紀恵他	00-12J		
法学		2	2									大沼友紀恵	00-12K		
民法		2	2	2								大沼友紀恵	00-12L		
西洋経済史	G	2	(2)	2								新保良明	00-12M		
人文地理学(a)		1	1									中村昭史	00-12N		
人文地理学(b)		1	1									中村昭史	00-12O		
現代中国論	G	2		2								竹茂敦	00-12P		
人間科学系	教育学(1a)		1	1									角田多加雄, 沈雨香	00-131	
	教育学(1b)		1	1									角田多加雄, 沈雨香	00-132	
	教育学(2a)		1		1								角田多加雄, 沈雨香	00-133	
	教育学(2b)		1		1								角田多加雄, 沈雨香	00-134	
	スポーツ・健康論		2	2	(2)								体育教室	00-135	
	心理学(1a)		1	1									千田茂博	00-136	
	心理学(1b)		1	1									千田茂博	00-137	
	心理学(2a)		1		1								千田茂博	00-138	
	心理学(2b)		1		1								千田茂博	00-139	
	心理学概論(a)		1	1									森山徹	00-13A	
	心理学概論(b)		1	1									森山徹	00-13B	
	心理学入門		2	2									川村久美子	00-13C	

○印必修科目 △印選択必修科目

区分	科目群	授業科目	必修の別	単位数	週時間数								担当者 (2020年度現在)	科目ナンバリング	
					1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期			
教養科目	人間科学系	社会とジェンダー(a)		1		1							西山千恵子	00-13D	
		社会とジェンダー(b)		1		1							西山千恵子	00-13E	
		国際化と異文化理解(a)	G	1								1	山中美子	00-331	
		国際化と異文化理解(b)	G	1								1	山中美子	00-332	
		日本文化の伝承(a)	G	1		1							丸島和洋, 榎本宗白	00-13F	
		日本文化の伝承(b)	G	1		1							丸島和洋, 榎本宗白	00-13G	
	自然・情報科学系	論理学(1a)		1	1								小草泰	00-141	
		論理学(1b)		1	1								小草泰	00-142	
		論理学(2a)		1		1							小草泰	00-143	
		論理学(2b)		1		1							小草泰	00-144	
	その他	ボランティア(1)		1										00-951	
		ボランティア(2)		1										00-952	
		教養ゼミナール(1)		2	2	(2)								00-953	
		教養ゼミナール(2)		2	2	(2)								00-954	
教養特別講義(1)			2	2	(2)								00-955		
教養特別講義(2)			2	2	(2)								00-956		
体育科目	基礎体育(1)		△	1	2								体育教室	01-111	
	基礎体育(2)		△	1		2							体育教室	01-112	
	応用体育(1) *集中授業あり			1			2*	(2)*					体育教室	01-211	
	応用体育(2) *集中授業あり			1			2*	(2)*					体育教室	01-212	
外国語科目	英語科目(スキル)	Communication Skills(1)	○	1	2								秋山義典他	02-111	
		Communication Skills(2)	○	1		2							秋山義典他	02-113	
		Reading and Writing(1a)	○	0.5	1									三幣友行他	02-115
		Reading and Writing(1b)	○	0.5	1									三幣友行他	02-116
		Reading and Writing(2a)	○	0.5		1								日高正司他	02-117
		Reading and Writing(2b)	○	0.5		1								日高正司他	02-118
		Basic English Training(a)		1			1	(1)						鴨下恵子他	02-211
		Basic English Training(b)		1			1	(1)						鴨下恵子他	02-212
		Grammar(1a)		1			1	(1)						吹野佐枝子他	02-213
		Grammar(1b)		1			1	(1)						吹野佐枝子他	02-214
		Grammar(2a)		1			1	(1)						Y C 開講	02-215
		Grammar(2b)		1			1	(1)						Y C 開講	02-216
		Test Taking Skills(1a)		1			1	(1)						真鍋守他	02-217
		Test Taking Skills(1b)		1			1	(1)						真鍋守他	02-218
		Test Taking Skills(2a)		1			1	(1)						Y C 開講	02-219
		Test Taking Skills(2b)		1			1	(1)						Y C 開講	02-22A
		Test Taking Skills(3a)		1			1	(1)						畑和樹	02-311
		Test Taking Skills(3b)		1			1	(1)						畑和樹	02-312
		Critical Reading(1a)		1			1	(1)						薦田嘉人他	02-22B
		Critical Reading(1b)		1			1	(1)						薦田嘉人他	02-22C
		Critical Reading(2a)		1			1	(1)						伊藤千里	02-22D
		Critical Reading(2b)		1			1	(1)						伊藤千里	02-22C
		Critical Reading(3a)		1			1	(1)						松本淳子他	02-313
		Critical Reading(3b)		1			1	(1)						松本淳子他	02-314
		Critical Listening(1a)		1			1	(1)						磯野睦子	02-21F
		Critical Listening(1b)		1			1	(1)						磯野睦子	02-21G
		Critical Listening(2a)		1			1	(1)						寺澤由紀子	02-21H
		Critical Listening(2b)		1			1	(1)						寺澤由紀子	02-21I
		Critical Listening(3a)		1			1	(1)						池上俊彦	02-315
		Critical Listening(3b)		1			1	(1)						池上俊彦	02-316
		Communication Strategies(1a)		1			1	(1)						マディーン他	02-21J
		Communication Strategies(1b)		1			1	(1)						マディーン他	02-21K
		Communication Strategies(2a)		1			1	(1)						高橋比路史	02-21L
		Communication Strategies(2b)		1			1	(1)						高橋比路史	02-21M
		Communication Strategies(3a)		1			1	(1)						マディーン他	02-317
		Communication Strategies(3b)		1			1	(1)						マディーン他	02-318
Academic English(1a)		1			1	(1)						グレコ他	02-21N		
Academic English(1b)		1			1	(1)						グレコ他	02-21O		
Academic English(2a)		1			1	(1)						稲垣亜希子	02-21P		
Academic English(2b)		1			1	(1)						稲垣亜希子	02-21Q		
Academic English(3a)		1			1	(1)						畑和樹	02-319		
Academic English(3b)		1			1	(1)						畑和樹	02-31A		



○印必修科目 △印選択必修科目

区分	科目群	授業科目	必修の別	単位数	週時間数								担当者 (2020年度現在)	科目 ナンバリング	
					1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期			
外国語科目	英語科目 (教養)	Literature in English(1a)		1			1	(1)					薦田嘉人	02-221	
		Literature in English(1b)		1			1	(1)					薦田嘉人	02-222	
		Literature in English(2a)		1			1	(1)					水戸俊介	02-223	
		Literature in English(2b)		1			1	(1)					水戸俊介	02-224	
		Global Culture(1a)		1			1	(1)					大澤美穂子	02-225	
		Global Culture(1b)		1			1	(1)					大澤美穂子	02-226	
		Global Culture(2a)		1			1	(1)					グリーンバーグ	02-227	
		Global Culture(2b)		1			1	(1)					グリーンバーグ	02-228	
		Language Sciences(1a)		1			1	(1)					三幣友行	02-229	
		Language Sciences(1b)		1			1	(1)					三幣友行	02-22A	
		Language Sciences(2a)		1			1	(1)					畑和樹	02-22B	
		Language Sciences(2b)		1			1	(1)					畑和樹	02-22C	
		Global Society(1a)		1			1	(1)					T C 開講	02-22D	
		Global Society(1b)		1			1	(1)					T C 開講	02-22E	
		Global Society(2a)		1			1	(1)					Y C 開講	02-22F	
	Global Society(2b)		1			1	(1)					Y C 開講	02-22G		
	共通	海外・特別選抜セミナー		2	2	(2)								植野貴志子	02-931
		外国語特別講義(a)		1			1	(1)						T C 開講	02-932
		外国語特別講義(b)		1			1	(1)						T C 開講	02-933
	英語以外の 外国語科目	ドイツ語(1a)		1			1	(1)						山口和洋他	02-241
		ドイツ語(1b)		1			1	(1)						山口和洋他	02-242
		ドイツ語(2a)		1			1	(1)						山口和洋他	02-243
		ドイツ語(2b)		1			1	(1)						山口和洋他	02-244
		フランス語(1a)		1			1	(1)						富塚真理子	02-245
		フランス語(1b)		1			1	(1)						富塚真理子	02-246
		フランス語(2a)		1			1	(1)						富塚真理子	02-247
		フランス語(2b)		1			1	(1)						富塚真理子	02-248
		スペイン語(1a)		1			1	(1)						バラソ	02-249
		スペイン語(1b)		1			1	(1)						バラソ	02-24A
		スペイン語(2a)		1			1	(1)						バラソ	02-24B
		スペイン語(2b)		1			1	(1)						バラソ	02-24C
		イタリア語(1a)		1			1	(1)						T C 開講	02-24D
		イタリア語(1b)		1			1	(1)						T C 開講	02-24E
		イタリア語(2a)		1			1	(1)						T C 開講	02-24F
		イタリア語(2b)		1			1	(1)						T C 開講	02-24G
		中国語(1a)		1			1	(1)						黄愛華	02-24H
		中国語(1b)		1			1	(1)						黄愛華	02-24I
		中国語(2a)		1			1	(1)						黄愛華	02-24J
		中国語(2b)		1			1	(1)						黄愛華	02-24K
		アラビア語(1a)		1			1	(1)						ファトヒー	02-24L
		アラビア語(1b)		1			1	(1)						ファトヒー	02-24M
		アラビア語(2a)		1			1	(1)						ファトヒー	02-24N
		アラビア語(2b)		1			1	(1)						ファトヒー	02-24O
		韓国語(1a)		1			1	(1)						白雪花	02-24P
		韓国語(1b)		1			1	(1)						白雪花	02-24Q
韓国語(2a)			1			1	(1)						白雪花	02-24R	
韓国語(2b)		1			1	(1)						白雪花	02-24S		
日本語表現(a)		1			1	(1)						嘉村雅江	02-24T		
日本語表現(b)		1			1	(1)						嘉村雅江	02-24U		
PBL科目	SD PBL(1)		○	1	2									03-99A	
	SD PBL(2)		○	1		2								03-99B	
	SD PBL(3)		○	1					2					03-99C	

卒業要件	教養科目	10単位	
	体育科目	1単位	右記を含むこと △選択必修科目1単位
	外国語科目	8単位※	右記を含むこと ○必修科目4単位 ※情報工学部国際コースは、12単位とする。○必修科目4単位と 「英語科目(教養)」・「英語科目(スキル)」科目群の選択科目から8単位を含むこと。
	PBL科目	3単位	右記を含むこと ○必修科目3単位

G：国際化(グローバル化)に対応した教養科目

「教養科目」において、「海外の歴史と文化」「我が国の歴史と文化」に関連し、国際化(グローバル化)に対応した教養となる科目に、「G」を付している。

## 教養科目

### 1. 本学の教養科目

環境、食、家族、老いなど、現代社会には特定の専門領域だけでは解決できない複雑な課題が山積している。しかも、賛成か反対か二択を迫られることが多く、そうした場面での判断には、何より客観的、合理的に自分の頭で考える洞察力、比較力、批判力、評価力が必要となる。このような状況を踏まえれば、「教養」とは広い視野に立ち、事物を多様な視点から見ることができる複合的能力であると一先ず定義できる。その結果、以下の教養科目受講を求めたい。技術者は製品作りの過程で、営業、広報、経理など多くの部門と接触せねばならない。もちろん、技術者はこれらの部門に関し素人である。そこで、異なる専門家同士をつなぐ回路が必要となる。それが教養科目である。情報工学系の学生は経済学、倫理学などの履修により費用対効果、リスク・ベネフィット評価、利益相反、法令遵守の重要性などを知っておく必要がある。従って、「ものづくり」のみで終わることなく、複合的に物事を見る姿勢が望まれるわけである。卒業後を見据えた上で、文系型教養科目の履修が持つ重みを理解しよう。さらに、グローバル化が求められる中、「国際化に対応した教養科目」の区分にも目を向けてもらいたい。

### 2. 本学における教養科目と専門科目の関係性

教養科目の到達目標は洞察、比較、批判、評価など多岐にわたる能力の修得にある。社会に出れば、誰もが専門領域以外の多様な問題に直面せざるをえず、そのときに必要とされるのが事物を多面的に捉える視点である。つまり、これまでに修得した知識・技能などを総合的に活用して自ら判断を下し、直面する課題を自律的に解決できるのかどうか、が問われる。さらに、異なる専門分野の者同士が一つのプロジェクトを協力しながら遂行していく場合、互いの専門の結節点を探らねばならない。この接着剤・潤滑油的役割は総合的判断力を培うことを志向する教養科目によってかなえられる。以上から、教養科目の受講とは、学生が柔軟な思考力を培って主体性を鍛え、国際性を身につけ、創造性を伸ばすことを保証するためにあると言えよう。

このように、本学の教養科目は次のように位置づけられる。(a)教養科目は異なる学部・学科間の専門分野を関連付け、結びつけるツールであると同時に、新しい視野を学生に提供する。(b)専門外の視点を与えることで、社会人としての素養を学生に身につけさせる。(c)人生の幅広い指針を学生各自に考えさせる。

従って、教養科目は専門基礎科目と専門科目から成る集合体を包み込むと共に、そのどの分野とも関連せざるをえない広域科目なのである。

### 3. 教養科目の全学共通化

本学では、3キャンパス開講の、ほぼすべての教養科目を履修することができる。所属キャンパスにとらわれることなく、自分の興味関心に基づき、主体的に科目を選んでもらいたい。キャンパス間の交流が進むことにも期待したい。

### 履修上の注意事項

- (1) 教養科目はすべて選択科目である。大半の科目は1年次から履修できる。しかし、2年次以上など受講上の条件のある科目もあるので授業内容と条件を吟味の上、各学年で2～4科目程度の科目を選択して履修する。3年次終了時までには「卒業研究(1)着手条件」(理工学部) / 「4年次進級条件」(情報工学部)を満たすように教養科目を修得する必要がある。
- (2) 教養ゼミナールは、名称・内容ともに担当教員の積極的な提案によって開講されている。受講者は少人数を原則とし、学科・学年を問わず履修できるので、学生同士や教員との交流も深めることができ、学生にとって極めて有意義な経験となるであろう。
- (3) 「教養ゼミナール」と「教養特別講義」は、それぞれ4単位まで「教養科目」区分の卒業要件として算入できる。なお、それぞれ4単位を超える同科目の単位は、卒業要件に算入できない修得単位(卒業要件非加算の特別履修)とする。
- (4) 教育職員免許状を取得しようとする者は、教養科目の「日本国憲法」を必ず履修しなければならない。
- (5) 「G」を記した「国際化(グローバル化)に対応した教養科目」とは、グローバル化が問われる現代社会の中で履修を推奨される科目のことである。つまり、オーストラリアなどへの留学の有無にかかわらず、教養人として海外の「事情・歴史・文化」は知っておくべきであり、その一方で、今後、我が国の「事情・歴史・文化」を外国人に発信することが求められる。国内または国外の共通項を取り上げる科目として、履修選択の際の参考にしてほしい。



## 体育科目

近代文明の急速な発展は、あらゆる面で人間の生活を便利にしている一方で、人間を動かない方向に押しやってもいる。例えば、労働形態の変化、モータリゼーション、家庭生活の電化等により、我々は日常生活で体を動かす機会、特に「歩行」という人間が生きていくうえで必要不可欠な基本運動を少しずつ失ってきている。このことは単なる身体機能の低下にとどまらず各々の心身にも多くの歪みをもたらし、精神・神経障害、運動機能障害、循環器障害、退行性変化、更には代謝異常へと結びつく要因となっている。これらの多くは運動不足症候群とも呼ばれ、憂うべき現象をもたらしている。このような現状を踏まえ、本学での体育は、身体に関する基礎知識や身体運動の習慣を身につけることを目指している。

大学時代は自己のライフスタイルを確立する大切な時期であり、この確立の根本には健康な体が前提視されるであろう。「スポーツ・健康論（教養科目）」や「教養ゼミナール（教養科目）」を通して運動と健康や体力との関わりを認識し理解するとともに、実技（スポーツ）を通してダイナミックな喜びを実感（共感）し、人間がぶつかり合って関係を創り出す社会的能力を身につけてほしい。更には、ここでの経験が生涯にわたって健康的な生活を自律的に、しかも積極的に送っていく礎となればと願っている。

### 履修上の注意事項

- (1) 「基礎体育(1), (2)」は、1年次における選択必修科目である。

#### 基礎体育(1)

1年次前期に開講され、バレーボール、ソフトボール、テニス、卓球の4種目があり、希望する種目を選び半期履修する。ただし、履修人数により開講されない種目もある。

#### 基礎体育(2)

1年次後期に開講され、バスケットボール、サッカー、テニス、卓球の4種目があり、希望する種目を選び半期履修する。ただし、履修人数により開講されない種目もある。

※受講にあたっては、各自室内履きを用意し、赤い靴ひもをつけること。(学内で販売)

屋外種目を選択した場合も天候により室内で授業を実施する可能性があるため全員準備すること。

- (2) 「応用体育(1)(2)」は、2年次以降いずれの学年においても履修することができる全学科共通の選択科目である。

授業形態としては半期ごとに行われる通常授業と、休業中に宿泊を伴って行われる集中授業がある。

通常授業、集中授業関係なく履修順に「応用体育(1)」「応用体育(2)」として認定される。同じ期に(1)(2)を同時に履修することはできないので注意すること。

#### 応用体育 通常授業

通常授業は、バドミントン、テニス、室内球技等が開講されており、種目等の詳細については、学期始めに掲示を行う。履修制限並びに履修申請の都合上、1回目のガイダンスに必ず出席すること。

※受講にあたっては、各自室内履きを用意し、赤い靴ひもをつけること。(学内で販売)

屋外種目を選択した場合も天候により室内で授業を実施する可能性があるため全員準備すること。

#### 応用体育 集中授業

集中授業は、夏はゴルフ、冬はスキー・スノーボードを開講している。

ゴルフは、学内での授業を3回(8月はじめ並びに9月はじめ)と2泊3日(9月上旬)の宿泊並びラウンドを行う授業となっている。経験者はもちろん、初心者でも実際のコースを体験できる授業となっている。

スキー・スノーボードは、岩手県にある安比高原スキー場にて3泊4日(2月上旬)の授業となっている。初心者から上級者まで対応しており、上達することは間違いない。希望者はSAJ(全日本スキー連盟)の級検定もできる。

※集中授業の履修に関しては、詳細を掲示するとともに申込用紙を14号館2階の体育事務・管理室前に置いておくので記入し、提出をすること。共に先着順となるため履修希望者は、早めに申し込みをすること。

## 外国語科目

外国語共通教育センターでは、以下のディプロマポリシーを掲げ、全キャンパス統一カリキュラム「都市大スタンダード2.0」に基づいた外国語教育を行っている。

- (1) 外国語を駆使して国際社会で積極的に活動できる人材を育成する。
- (2) 異文化を理解し尊重する姿勢を身につけ、多文化共生社会に順応するための「発想力」「表現力」「対話力」「共感力」「問題解決力」を習得した人材を育成する。
- (3) 将来のキャリアを見据えて、自律的な語学学習を計画しそれを実行できる人材を育成する。

1年次においては、英語必修科目 Reading and Writing (1)a/b, (2)a/b, および、Communication Skills (1)(2) (計4単位)を履修し、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の向上を目指す。英語必修科目のクラスは、入学時の基礎学力テスト (TOEIC IP テスト) に基づき、4レベルで編成される。

2年次以降は、選択科目から2科目 (計4単位)を履修する。選択科目は、「英語科目 (スキル)」「英語科目 (教養)」「英語以外の外国語科目」「共通科目」の4カテゴリで構成される。「英語科目 (スキル)」は、「Critical Reading」「Communication Strategies」「Test Taking Skills」など、英語運用能力の向上を主眼とした科目を含む。「英語科目 (教養)」には、「Literature in English」「Language Sciences」「Global Culture」などがあり、英語を学びながら文学、文化、現代社会等に関する幅広い教養を習得することができる。「英語以外の外国語科目」としては、中国語、韓国語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、アラビア語が開講されている。また、「共通科目」の1つである「海外・特別選抜セミナー」では、海外研修を行いながら単位取得を目指すことも可能である。

英語学習の成果を測定するために、全員を対象とした基礎学力テスト (TOEIC IP テスト) を設けている。テスト結果を参考に、日々の学習成果を把握したうえで、次学年に向けて新たな目標を設定し、関心、興味に応じて自分に適した履修計画を立てることが望まれる。

語学力の向上のためには、授業での演習に積極的に参加し、予習、復習に注力することに加えて、授業で培った語学力を実際の場面で使用することも重要である。学内の外国語学習支援やメディア教材などを活用するとともに、短期研修、留学などにも挑戦し、将来のキャリアに役立ててほしい。

### 履修上の注意事項

- (1) 1年次英語必修科目を修得できなかった学生は、原則として翌年に開講される該当科目の再履修クラスを履修すること。
- (2) 選択科目については、横浜および等々力キャンパスで開講される科目も履修できる。他キャンパスの授業時間割を参照し、特別履修申告書により履修登録を行うこと。
- (3) 選択科目「英語科目 (スキル)」「英語科目 (教養)」は習熟度別で開講している。学年末の基礎学力テスト (TOEIC IP) を受験し、スコアを参考にして、できるだけ自分の習熟度に合った科目を選択すること。科目の設定レベルと履修希望者の習熟度に甚だしい乖離が見られる場合は、科目担当者が履修制限をすることがある。
- (4) 選択科目の履修については、科目ごとに条件が設けられている。各科目のシラバスを参照し、それに従うこと。





---

# 情報工学部 情報工学基盤科目

---

数 学 系

自然科学系

情報基盤系

2020年度 情報工学基盤科目 教育課程表

○印必修科目 △印選択必修科目

区分 科目群	授業科目	単 位 数	週時間数								必修の別				備考	科目 ナンバリング
			1年		2年		3年		4年		情報科学科		知能情報工学科			
			前	後	前	後	前	後	前	後	①	②	①	②		
数学系	数学演習(1)	1	2													20-113
	数学演習(2)	1		2												20-213
	微分積分学(1)	2	2							○	○	○	○			20-111
	微分積分学(2)	2		2						○	○	○	○			20-211
	線形代数学(1)	2	2							○	○	○	○			20-112
	線形代数学(2)	2		2						○	○	○	○			20-212
	基礎確率統計	2	2							○	○	○	○			20-114
	微分方程式論	2			2											20-311
	ベクトル解析学	2			2											20-312
	フーリエ解析学	2				2										20-313
	関数論	2				2										20-314
	代数学(1)	2			2											20-315
	代数学(2)	2				2										20-316
代数学(3)	2				2										20-317	
自然科学系	物理学(1)	2	2							△1	○	△1	○			20-121
	物理学(1)演習	1	2													20-122
	物理学(2)	2		2						△1	○	△1	○			20-221
	物理学実験	2	4	(4)						△2	△2	△2	△2			20-123
	化学(1)	2	2							△1		△1				20-124
	化学(2)	2		2						△1		△1				20-222
	化学実験	2	(4)	4						△2	△2	△2	△2			20-125
	生物学(1)	2	2							△1		△1				20-126
	生物学(2)	2		2						△1		△1				20-223
	生物学実験	2	4	(4)						△2	△2	△2	△2			20-127
	地学(1)	2	2													20-128
	地学(2)	2		2												20-224
	地学実験	2	4	(4)						△2	△2	△2	△2			20-129
情報基盤系	情報リテラシー	2	2							○	○	○	○			20-131
	コンピュータ概論	2	2							○	○	○	○			20-132
	数値解析	2		2						○	○					20-231
	情報社会と倫理	2			2					○	○	○	○			20-232
	情報社会と職業	2				2										20-233
	情報と特許	2					2			○	○					20-234
	キャリアデザイン	1			2					○	○					20-134
	専門キャリアデザイン	1				2										20-135
	技術日本語表現技法	2			2											20-235
	インターンシップ(1)	1														20-931
	インターンシップ(2)	1														20-932
	インターンシップ(3)	1														20-933
	インターンシップ(4)	1														20-934
	海外体験実習(1)	1														20-935
	海外体験実習(2)	1														20-936
	海外体験実習(3)	1														20-937
	海外体験実習(4)	1														20-938
特別講義(IT-1)	2														20-939	

卒業要件	30単位 右記を含むこと	○必修科目	21単位	25単位	16単位	20単位
		△選択必修科目	△△ 1 2 かか らら 4 2 単単 位位	△ 2 か ら 2 単 位	△△ 1 2 かか らら 4 2 単単 位位	△ 2 か ら 2 単 位

科目ナンバリング: YY-LMD

YY:科目区分 20:情報工学基盤科目  
 L:レベル 1:入門 3:応用 9:その他  
 2:基礎  
 M:科目群 1:数学系 2:自然科学系 3:情報基盤系  
 D:識別番号

情報工学基盤科目は教育課程表にあるように「数学系」、「自然科学系」、「情報基盤系」から構成される。

### 数学系

数学系科目では「関数」が共通のキーワードになっている。「関数」は複数の変動する量の間の関係をシンプルに一つの量と見なして扱おう、というアイデアだが、その基本的な考え方を「微分積分学(1)、(2)」で準備する。また、多数の量をひとまとめにして処理する「行列」という新しい量について「線形代数学(1)」で習熟する。そして、「関数」「行列」という豊かな情報を含む新しい量を自由に扱うための自然な設定となる「ベクトル空間」の概念を「線形代数学(2)」で導入する。1年次にこれらの必修科目で学ぶことが、その後のいろいろな専門科目のための基本的なことば・考え方になる。講義で与えられる大量のインプットに対し、論語に「学びて時にこれを習う、またよろこばしからずや」とあるように、自分なりに試行錯誤してアウトプットを生み出すことによって、数学を楽しみ理解を確かなものにするための科目が「数学演習(1)、(2)」である。特に4月のオリエンテーション期間に行なわれる基礎学力調査の結果が思わしくなかった学生には「数学演習(1)、(2)」の受講を強く勧める。数学が得意な学生にとっても自分の強みをさらに伸ばす機会となる。カントが指摘したように、すべての現象は時間と空間の中で起きる。2年次では、時間とともに変動する量が従う法則を関数の微分積分によって記述する「微分方程式論」、空間の幾何学と関数の微分積分を融合する「ベクトル解析学」、時間とともに推移する現象をその周期に着目して要素に分解し現象の核心をつかむ「フーリエ解析学」、複素数の空間へ飛び出すことによって関数の本質を明らかにする「関数論」を学ぶ。これらによって現象の数理的・量的理解が飛躍的に精密化し拡大するのである。

### 自然科学系

情報科学科、知能情報工学科では、「物理学(1)、(2)」「化学(1)、(2)」「生物学(1)、(2)」が選択必修になっており、さらに「物理学実験」「化学実験」「生物学実験」、「地学実験」が参加型体験学習として選択必修になっている。

「物理学(1)演習」は「物理学(1)」とペアになっているので、高校で物理学を充分学んでこなかった、基礎力不足を感じる学生には「物理学(1)演習」の受講を強く勧める。

### 情報基盤系

「情報基盤系」科目は、情報工学部で「科学」と「工学」を学ぶ学生にとって必要な知識や能力を修得するために用意されている。

まず、将来のキャリアの礎となる、大学での『アカデミックキャリア』をプランニングし、実践する力を養成するために、2科目のキャリア教育科目を設置している。終身雇用制の前提が崩れた現代社会においては、キャリアの多様性とともにキャリアについて考え、自らの価値観に合った職業を選択する基準を養うこと（キャリアデザイン力）の重要性が増している。大学入学当初から徐々に会社や仕事の意味を学び、自己の価値観をライフスタイル、ワークスタイルの枠組みで考える力が求められる。2年次開講の「キャリアデザイン」、3年次開講の「専門キャリアデザイン」では、徐々に具体的な将来像を見据えつつ、具体的なキャリアデザインについて講義する。

また、自分の将来像をより具体的にするために、「情報基盤系」科目では「インターンシップ(1)」「インターンシップ(2)」「インターンシップ(3)」「インターンシップ(4)」を開講する。インターンシップに参加する前に、申請書を提出し、研修内容や期間を確認して単位認定できるかどうかを学科が事前に判断し、研修終了後に提出する報告書に基づき単位認定が行われる。最近では、インターンシップへの参加を就職時の必須とする企業もあり、多くの学生が国内の企業、官公庁および組織体における国内インターンシップだけでなく、ドイツ、タイ等の諸外国の企業での海外インターンシップにも参加している。



これ以外にも、「情報基盤系」科目では、技術者として身につけておくべき多くの素養に関する授業が用意されている。例えば、現在の情報社会で活躍するために必要となる「情報リテラシー」「コンピュータ概論」に始まり、現代社会人として必要となる「情報社会と倫理」「情報社会と職業」「情報と特許」「技術日本語表現技法」など、その講義範囲は多岐にわたる。

また、「海外体験実習(1)」「海外体験実習(2)」「海外体験実習(3)」「海外体験実習(4)」は、例年、担当教員によるガイダンスを行った上で参加者を募集している。